

「なんとなく気分が晴れない」

「夜、眠りが浅い」

「やる気が出ない」

忙しい日々のなかで、

心が少しずつ疲れてしまうことは、

誰にでも起こりうる自然なことです。

当院の精神・神経科では、

生活の中で感じるストレスや不眠、

気分の落ち込みなど、

様々なこころの不調に対応しています。

「大学病院」と聞くと少し構えてしまうかもしれませんが、

私たちは“気軽に相談できる専門外来”を目指しています。

こころのサインに早めに気づき、無理をせず、

これからの生活が少しでも楽になるよう

お手伝いができれば幸いです。

1 受診は「原則予約制」です

受診をご希望の患者さんは、事前に下記の方法でご予約をお願いいたします。

■ 紹介状をお持ちの方

Web、もしくはお電話（外来予約窓口）にて
ご予約を承ります。

■ 紹介状をお持ちでない方

お電話（外来予約窓口）にて
お問い合わせください。

※Web予約はご利用いただけませんのでご注意ください。

Web初診
予約フォーム



外来予約窓口 03-3353-1257

受付時間 午前8時30分～午後4時30分

休診日 日曜、祝日、第1・3土曜日、年末年始（12月30日～1月4日）

※休診日でも外来診療を行う場合があります。詳細は病院Webサイトをご確認ください。

2 紹介状がなくてもご予約頂けます

当科は紹介状がなくてもご予約いただけますが、よりスムーズな診察のため、可能であれば紹介状のご用意をお願いしております。また、他医療機関からの紹介状がない初診時は、初診における特別料金（選定療養）として、9,900円（税込）を別途お支払いただけます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

アクセス

JR・地下鉄

- 中央・総武線「信濃町」駅下車、徒歩約1分
- 都営大江戸線「国立競技場」駅下車（A1番出口）、徒歩約5分
- 丸の内線「四谷三丁目」駅下車（1番出口）、徒歩約15分
- 半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車（0番出口）、徒歩約15分



バス

- 新宿駅西口・品川駅高輪口（品97）「信濃町駅前（慶應病院前）」下車
- 早大正門・渋谷駅東口（早81）「四谷第六小学校入口」下車



慶應義塾大学病院
Keio University Hospital

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

精神・神経科 外来・入院のご案内



慶應義塾大学病院
Keio University Hospital

外来診療のご案内

外来診療体制

当科では、不眠症、適応障害、うつ病などの気分障害、不安症、強迫症、統合失調症、認知症など、幅広いこころの不調に対応しています。

初診について

午前中に1日8名の初診枠を設けています。原則予約制ですが、空きがある場合は当日の受診も可能です。

診療の特色

初診では精神科専門医による丁寧な問診のもと、医師・心理士・看護師が連携して、患者さん一人ひとりに合わせた治療をご提案します。血液検査や画像検査のほか、各種心理検査も実施可能です。認知行動療法や森田療法、女性のメンタルヘルス、発達障害など疾患や症状に応じた診療も行っています。

rTMS療法(反復経頭蓋磁気刺激療法)

rTMS療法とは、専用の医療機器を用いて、脳に繰り返し磁気刺激を与えることで、特定の脳の活動を変化させ、うつ病の症状を緩和する治療です。本治療は、適切な薬物療法を行っても十分な改善が得られない成人のうつ病に対し、国内外で検討される治療選択肢の一つです。当科では、通常の保険診療としてうつ病の方にrTMS療法を行っています。治療を希望される方には、診察の中でrTMS療法の概要や期待される効果だけでなく、安全性(副作用)についてもご説明し、治療が適しているかどうかを検討します。

ショートケア

ショートケアは、外来で行う精神科リハビリテーション治療の一つです。プログラムを通じて病状の回復を促し、生活の安定や再発予防を図ることを目的としており、健康保険が適用されます。集団認知行動療法プログラムやマインドフルネスなどを通して、再発予防・ストレス対処法の習得を支援します。原則として当科通院中の患者さんを対象としています。

入院診療のご案内

入院診療体制

当科の病棟は16床(個室8部屋、4床室2部屋)の落ち着いた雰囲気の開放病棟です。概ね1か月の入院期間の中で、医師・看護師・ソーシャルワーカーなど、さまざまな専門職が協力し、症状の安定と回復をサポートします。

うつ病、不安症への詳しい評価や治療、認知症など脳神経系疾患で精神症状を伴う方への検査を積極的に行っています。また、クロザピン、精神科電気けいれん療法(mECT)、反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)などの専門的な治療にも対応しています。身体のご病気をお持ちの方も他診療科の医師と連携して治療にあたります。治療に専念できる落ち着いた環境で、一人ひとりに合わせた医療を提供しています。

うつ病アセスメント入院

当科では、7泊8日の短期集中型入院プログラム「うつ病アセスメント入院」を実施しています。うつ症状の原因の診たてや、治療の参考になるようなパーソナリティ特性、発達特性、環境要因などの評価を行い、治療の見直しにも役立てられるようなプログラムを目指しております。

精神科電気けいれん療法(mECT)

精神科電気けいれん療法は、精神科治療法の一つであり、様々な精神症状の改善を図るために用いられています。うつ状態や興奮状態などに対して、早急に症状を改善させる必要がある場合などに、有効性が報告されています。当科では高度な設備を備え、手術室で麻酔科専門医のサポートのもと、経験豊富な精神科医師が安全に配慮して実施します。

認知症の初期評価入院

物忘れなどの症状に対して、最大1か月の検査入院で精査、可能な治療のご提案、必要な社会資源の調整を行います。MRI・SPECTなどの脳画像検査、神経心理検査などを組み合わせ、適切な治療と生活支援につなげます。

Q&A

よくあるご質問

Q1 診察の予約は必要ですか？

A1 慶應義塾大学病院では、患者さんの待ち時間短縮のため「予約制」となっています。初診枠は午前中に1日8名分を設けており、原則予約制ですが、空きがある場合は当日の受診も可能です。

Q2 紹介状は必要ですか？

A2 当科は紹介状がなくてもご予約頂けます。可能であれば、紹介状をご用意ください。紹介状をご用意いただいた方が、よりスムーズに診察・治療のご提案を行うことが可能です。なお、他医療機関からの紹介状がない初診受診時は、初診における特別料金(選定療養)として、9,900円(税込)を別途お支払いいただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

Q3 ショートケアは保険診療ですか？

A3 はい、保険診療の範囲内で費用がかかります。また、自立支援医療制度の利用も可能です。費用は患者さんの状況により異なりますが、1回あたりの目安としては、自己負担3割の場合は約1,800円、自己負担1割の場合は約600円です。

Q4 rTMS療法は保険診療ですか？

A4 はい。当科では保険診療として実施しており、自費診療は行っておりません。そのため、保険診療の対象となる「適切な薬物療法を十分にを行ったにもかかわらず、期待された効果が得られない中等症以上のうつ病」の患者さんが主な対象となります。その他にも詳細な適応基準がありますので、詳細は担当医にご相談ください。

